

問1 てこを使って重い物を持ち上げるとき、てこを支える位置のことを何といいますか。

問2 てこの仕組みを使って重いものを持ち上げるとき、力を加えるものはどれですか。

問3 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのように表されますか。

問4 てこを使って重いものを持ち上げるとき、手でてこを押し下げたり引き上げたりして、力を加える位置のことを何といいますか。

問5 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。

問6 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。

問7 はさみやくぎぬきなどの道具で、作用点と力点の間にある点はどれですか。

問8 はさみで紙を切るとき、2つの刃が交わっていて、はさみ全体を支える位置にあたる部分を何といいますか。

問9 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。

問10 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、作用点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。

問11 てこを使って重いものを持ち上げるとき、そのものに力がはたらいている「作用点」では、どのようなことが起こっていますか。

問12 1点でささえた棒に力を加えて、重いものを持ち上げることができる仕組みを何といいますか。

問13 理科の実験などで、手で押し下したり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。

問14 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点に近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。

問15 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。

問16 つり合っているてこでは、左右のうでの「てこをかたむけるはたらき」はどうなっていますか。

問1 てこを利用した道具である「はさみ」を使うとき、指で握^{にぎ}って力を加える部分は、てこの何にあたりますか。

問2 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。

問3 はさみやくぎぬきなどの道具で、作用点と力点の間にある点はどれですか。

問4 てこのつり合いのきまりによると、てこがつり合っているとき、「左のおもりの重さ×左のうでの支点からのきより」の値は、右側のどのような計算から求められる値と等しくなりますか。

問5 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。

問6 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。

問7 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。

問8 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、力点と支点の間隔^{かんかく}はどのようにすればよいですか。

問9 てこを使うとき、支点と作用点の位置を変えずに、力点を支点から遠ざけていくと、手ごたえや必要な力はどのように変化しますか。

問10 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのように表されますか。

問11 理科の実験などで、手で押^おしたり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。

問12 力点と支点の位置を変えないとき、重いものをより小さな力で楽に持ち上げるためには、作用点をどのように動かせばよいですか。

問13 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点到近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。

問14 てこを使って、ものに力がはたらく位置のことを何といいますか。

問15 てこのうでをかたむける力の大きさを表すもので、「おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）」の積で表されるものを何といいますか。

問16 空きかんつぶし器は、てこの仕組みを利用した道具です。この道具において、支点と力点の間にある部分はどこですか。

問1 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、力点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。

問2 はさみやくぎぬきなどの道具で、作用点と力点の間にある点はどれですか。

問3 てこのうでをかたむける力の大きさを表すもので、「おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）」の積で表されるものを何といいますか。

問4 てこを使って重いものを持ち上げるとき、手でてこを押し下げたり引き上げたりして、力を加える位置のことを何といいますか。

問5 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。

問6 てこを使って重いものをできるだけ小さな力で楽に持ち上げたいとき、支点と作用点の位置を変えないとすると、力点の位置をどのようにすればよいですか。

問7 力点と支点の位置を変えないとき、重いものをより小さな力で楽に持ち上げるためには、作用点をどのように動かせばよいですか。

問8 てこを利用した道具である「はさみ」を使うとき、指で握って力を加える部分は、てこの何にあたりますか。

問9 空きかんつぶし器は、てこの仕組みを利用した道具です。この道具において、支点と力点の間にある部分はどこですか。

問10 てこのつり合いのきまりによると、てこがつり合っているとき、「左のおもりの重さ×左のうでの支点からのきより」の値は、右側のどのような計算から求められる値と等しくなりますか。

問11 つり合っているてこでは、左右のうでの「てこをかたむけるはたらき」はどうなっていますか。

問12 台ばかりを上から指で押ししたときに、針が100gを示したとします。このとき、指が加えている「100g」という値は、何の大きさを表したのでしょうか。

問13 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。

問14 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、作用点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。

問15 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。

問16 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点に近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。

- 問1 てこを使って重いものを持ち上げるとき、手でてこを押し下げたり引き上げたりして、力を加える位置のことを何といいますか。
- 問2 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。
- 問3 理科の実験などで、手で押ししたり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。
- 問4 はさみやくぎぬきなどの道具で、作用点と力点の間にある点はどれですか。
- 問5 てこを使って、ものに力がはたらく位置のことを何といいますか。
- 問6 てこを使って重い物を持ち上げるとき、てこを支える位置のことを何といいますか。
- 問7 1点でささえた棒に力を加えて、重いものを持ち上げることができる仕組みを何といいますか。
- 問8 力点と支点の位置を変えないとき、重いものをより小さな力で楽に持ち上げるためには、作用点をどのように動かせばよいですか。
- 問9 てこを使って重いものを持ち上げるとき、そのものに力がはたらいている「作用点」では、どのようなことが起こっていますか。
- 問10 てこを利用した道具である「はさみ」を使うとき、指で握^{にぎ}って力を加える部分は、てこの何にあたりますか。
- 問11 てこのつり合いのきまりによると、てこがつり合っているとき、「左のおもりの重さ×左のうでの支点からのきより」の値は、右側のどのような計算から求められる値と等しくなりますか。
- 問12 てこを使って重いものをできるだけ小さな力で楽に持ち上げたいとき、支点と作用点の位置を変えないとすると、力点の位置をどのようにすればよいですか。
- 問13 つり合っているてこでは、左右のうでの「てこをかたむけるはたらき」はどうなっていますか。
- 問14 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点に近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。
- 問15 てこを使うとき、支点と作用点の位置を変えずに、力点を支点から遠ざけていくと、手ごたえや必要な力はどのように変化しますか。
- 問16 てこのうでをかたむける力の大きさを表すもので、「おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）」の積で表されるものを何といいますか。

- 問1 てこのうでをかたむける力の大きさを表すもので、「おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）」の積で表されるものを何といいますか。
- 問2 てこのつり合いのきまりによると、てこがつり合っているとき、「左のおもりの重さ×左のうでの支点からのきより」の値は、右側のどのような計算から求められる値と等しくなりますか。
- 問3 てこを使って重い物を持ち上げるとき、てこを支える位置のことを何といいますか。
- 問4 台ばかりを上から指で押したときに、針が100gを示したとします。このとき、指が加えている「100g」という値は、何の大きさを表したのでしょうか。
- 問5 てこを利用した道具である「はさみ」を使うとき、指で握って力を加える部分は、てこの何にあたりますか。
- 問6 てこを使って重いものをできるだけ小さな力で楽に持ち上げたいとき、支点と作用点の位置を変えないとすると、力点の位置をどのようにすればよいですか。
- 問7 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。
- 問8 1点でささえた棒に力を加えて、重いものを持ち上げることができる仕組みを何といいますか。
- 問9 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、力点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。
- 問10 はさみで紙を切るとき、2つの刃が交わっていて、はさみ全体を支える位置にあたる部分を何といいますか。
- 問11 空きかんつぶし器は、てこの仕組みを利用した道具です。この道具において、支点と力点の間にある部分はどこですか。
- 問12 てこの仕組みを使って重いものを持ち上げるとき、力を加えるものはどれですか。
- 問13 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。
- 問14 理科の実験などで、手で押したり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。
- 問15 てこを使って、ものに力がはたらく位置のことを何といいますか。
- 問16 力点と支点の位置を変えないとき、重いものをより小さな力で楽に持ち上げるためには、作用点をどのように動かせばよいですか。